

株主の皆さまへ

第61期 中間報告書

2014年4月1日～2014年9月30日

証券コード：9888



株式会社 **UEX**



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第61期中間報告書をお届けするにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

ステンレス鋼業界におきましては、全般的には景気の回復に伴い市況も堅調に推移しております。円安ドル高基調による原燃料価格の高騰がもたらす

製造コストの上昇を受けて、メーカー各社は、引き続き値上げ姿勢を強めており、適切な価格対応が流通の課題となっております。

そのような中、当社企業集団の連結業績については、おかげさまで、売上高・当期純利益とも前年同期を大きく上回る結果をご報告することができました。中核事業である「ステンレス鋼その他金属材料の販売事業」では、継続して注力してまいりました「成長分野への取り組み」「製品サービスの高付加価値化の推進」を中心とした営業活動による成果が実りはじめてきたものと受け止めております。続く「ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業」も引き続き好調を維持しております。

「機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業」については、当上半期においては赤字となりましたが、下半期において受注物件が多くあり、通期での黒字化を目指します。

このように、当上半期は、計画を上回る業績となりましたので、期初に予定しましたとおり、当社としては6期ぶりとなる中間配当（1株につき2円）を実施することをあわせてご報告いたします。

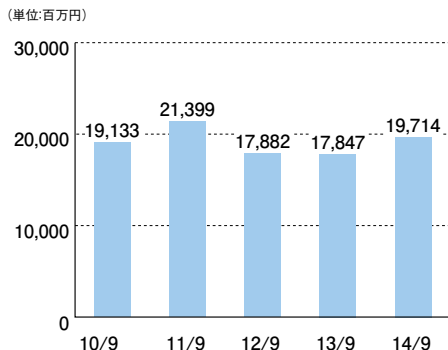
今年度は2016年3月期を最終年度とする3か年目標の2年目であります。掲げている数値目標（単体）、売上総利益率13%以上、売上高販管費率11%以下の達成に向けた道筋を確たるものにするため、これまでの取り組みを継続・強化し、強固な収益基盤を築き上げる所存でございます。

株主の皆さまにおかれましては、当社企業集団への一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

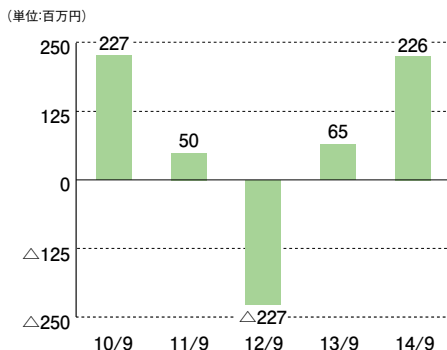
2014年11月

代表取締役社長 岸本 則之

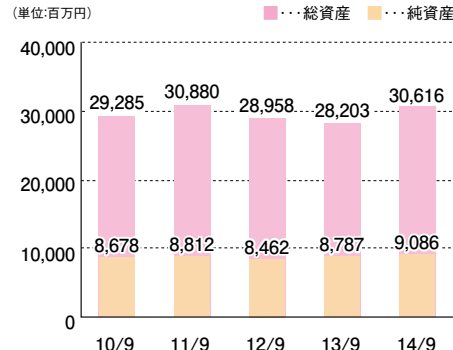
連結売上高(第2四半期累計)



連結四半期純利益(第2四半期累計)



総資産／純資産



事業の概況

当第2四半期（2014年4月1日～2014年9月30日）におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策の効果から、一部に弱さがみられるものの、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、為替の変動に伴う原燃料価格の上昇が及ぼす影響などの懸念材料もあり、実体経済は先行き不透明なものとなっております。

当社企業集団の属するステンレス鋼業界におきましては、原料価格の変動や製造コストの上昇からメーカー各社の値上げ姿勢が継続しており、市況は強含みで推移しました。需要も総じて底堅く推移しましたが、流通在庫も増加しており、国内流通マーケットは盛り上がり欠ける動きとなりました。

このような状況のなか、当社企業集団の連結業績は、主力事業であるステンレス鋼その他金属材料の販売事業において、受注・販売量の確保に注力するとともに休眠顧客の掘起しや新規分野への積極的な営業展開を図った結果、売上高は前年同期に比べ10.5%増加の19,714百万円となりました。利益面につきましては、メーカー値上げに対応した販売価格の改定をすすめたことにより、前年同期に比べ営業利益は2.3倍の290百万円、経常利益は3.2倍の289百万円、四半期純利益は3.5倍の226百万円を計上しました。

ステンレス鋼その他金属材料の販売事業

ステンレス鋼の販売において、販売数量が前年同期に比べ1.9%増加し、販売価格が7.2%上昇したことなどにより、売上高は前年同期に比べ10.5%増加の18,610百万円となりました。営業利益は、販売価格の改定と利益確保のため原価低減に努めた結果、前年同期に比べ78.1%増加の228百万円となりました。

ステンレス鋼その他金属加工製品の製造・販売事業

国内建築分野のステンレス加工品販売は好調に推移しましたが、中国における造管事業は自動車関連向けが減少し高水準であった前年同期に比べ減収となり、売上高は前年同期に比べ3.6%減少の584百万円となりました。営業利益は売上総利益率の向上と販売費及び一般管理費の削減により前年同期に比べ32.5%増加の84百万円を計上しました。

機械装置の製造・販売及びエンジニアリング事業

前期に予定していた物件を当第1四半期に計上したため、売上高は前年同期に比べ31.6%増加の521百万円となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費を上回る売上総利益を確保することができず、営業利益は25百万円の損失（前年同期は79百万円の損失）となりました。

セグメント別会社一覧

(単位：百万円)

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				13/9実績	14/9実績	
ステンレス鋼などの販売	UEX (当社)	1,512	—	16,872	18,898	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	90	557	619	鋼管・鋼材・継手類・バルブ類の販売
	日進ステンレス	20	100	549	697	半導体装置用ステンレス鋼管などの販売
	ナカタニ(※)	10	33.6	1,527	1,749	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工・販売
	ステンレス急送	10	100	182	185	貨物自動車運送業
加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	421	429	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海UEX	1,520千US\$	100	11.7百万円	10.5百万円	鋼管加工製品の製造・販売
機械装置エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	285	521	一般産業用機械装置の設計・製作

(※)は持分法適用会社

会社概要 (2014年9月30日現在)

社名 株式会社UEX
英文商号 UEX, LTD.
設立 1955年1月14日
代表者 岸本 則之
資本金 15億1,215万円
従業員数 277名

本社 〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
天王洲セントラルタワー 5F
TEL 03 (5460) 6500
FAX 03 (5460) 6409

株式の状況 (2014年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 36,000,000株
- 発行済株式の総数 12,000,000株
- 株主数 2,365名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率*
住友商事株式会社	1,200千株	10.9%
株式会社メタルワン	700千株	6.3%
新日鐵住金ステンレス株式会社	696千株	6.3%
株式会社みずほ銀行	548千株	5.0%
UEX社員持株会	405千株	3.7%
三井物産スチール株式会社	368千株	3.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	339千株	3.1%

※出資比率は自己株式（980千株）を控除して計算しております。

中間配当金のお支払いについて

第61期中間配当金（1株につき2円）につきましては、同封の「配当金領収証」により、払渡し期間（2014年12月4日から2015年1月9日まで）内にゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りください。

金融機関に振込ご指定の株主様には、「配当金計算書」および「配当金振込先のご確認について」を同封いたしましたので、ご確認ください。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
期末配当基準日 毎年3月31日
中間配当基準日 毎年9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂
七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所
ジャスダック市場
公告の方法 電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
(公告掲載アドレス：
<http://www.uex-ltd.co.jp/>)

ご注意

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **株式会社 UEX**

〒140-8630 東京都品川区東品川2-2-24
Tel.03-5460-6500 Fax.03-5460-6409